

＜生徒・保護者の感想＞

- ・日本では年賀状を送り、外国ではクリスマスカードでクリスマスとニューイヤー（新年）が一緒になっていることが分かった。（2年女）
- ・英語でカードにメッセージを書いた。英語の勉強になった。ねんどでリースを作ったり、クッキーを食べたりとても楽しかった。（1年女）
- ・子どもから大人まで幅広く楽しむ国民性があります。ジョアンさんと一緒に、外国での生活の様子を知ることができ、子どもは幸せです。（保護者）
- ・このような地区に住んでいるから、数多くの体験が子どもに必要なんだなと思いました。これからも続けてください。（保護者）

2 郷土理解学習の実例

(1) アンケート調査から

—— 明和タイム 「地域の様子を知らろう」 ——

「明和地区の文化・歴史・伝統・人材・行事等を調査してみよう」

※ 縦割り集団で自分たちの学習（調べたいこと）の課題を見つけてみよう！

※ インターネットを活用したり、図書室を利用して調べてみよう！

いろいろな例

誰かを呼んで講演をしてもらおう！
土器を作ってみよう！
地区の行事に参加してみよう！
民話を本にしてみよう
高齢者や幼児とふれあいを持とう！
伝統芸能を習ってみよう！
工場を見学してみよう！
いろんなことを体験してみたいボランティアってなあに！

※文化祭との関連づけ

歴史文化産業自然地域人物工芸 } 大きなジャンルから選択する

(2) アンケートの結果

前記の調査項目の中から、生徒たちがどんなことをしたいか、具体的にアンケートをした。

- ① 昔話について (8名)
- 昔話の伝わり方 ○民話の発生とその継承
 - 民話を聞きたい・話したい

- ② 只見川・伊南川の魚の棲息について (9名)
- どんな魚が棲息しているか ○釣りの場とそのかかる時間帯 ○魚料理と作り方
- ③ 只見町の自然について (8名)
- 積雪・降雪調べとその克服 ○山・川とその名前の由来 ○今と昔の生活
- ④ 只見町の歴史・文化について (9名)
- 文化財について ○食文化について (特産物) ○民芸品について ○方言について
- ⑤ 福祉（ボランティア活動）について (7名)

- 一人暮らしのお年寄り宅への訪問
- 高齢化と少子化と過疎 ○子どもとの遊び
- 介護や看護の仕方や方法

＜作業の手順＞

● どのように分類するか

- ア) 生徒一人一人に各グループ内で自分の活動内容を発表させ、考えを明らかにした。
- イ) その後、生徒同士で話し合いを持たせ、実践活動が可能な範囲を絞り込ませた。
- ◇生徒自らが課題を選択する内発的な動機づけの場面の設定

● 担当教師はどうするか

- ア) 教師全員が支援可能なグループに所属するようにした。(複数)
- イ) 外部講師の選定は各グループ担当がするようにした。(事前交渉)
- ウ) 教科との関連を視野に入れ、教科の特質を生かした配当(担当)をした。

◇総合的な学習の時間における調査等のためのマニュアル作成

◇調査・研究の協力依頼書の作成